

5、世界のいまを直視する ——「グローバルサウス」の声をきく

「グローバルサウス」が声を強めている。9月にキューバで開催された「G77 プラス中国」では、開会演説を務めたディアス＝カネル・キューバ共和国大統領が「必要なのは何世紀にもわたる植民地と新植民地への従属がもたらした状況を是正することである」と主張した。しかし、米・欧・日の帝国主義勢力はNATOの拡大および「アジア版NATO」構想でこれを軍事的に封じ込め、「グローバルサウス」の一部を政治的に取り込むことで、この流れを押し留めようとしている。こうした現在の世界の動向をいかにとらえるべきか。駐日キューバ大使館書記官もお招きして考える。

① 1月13日(土) 声を強める「グローバルサウス」、攻勢を仕掛ける米欧日豪

講師＝富山栄子（国際交流平和フォーラム）

② 1月27日(土) 反帝国主義の旗を掲げ続けるキューバ人民

講師＝ダイロン - オヘダ（駐日キューバ共和国大使館二等書記官・政務担当）

③ 3月30日(土) 『教えられなかった戦争 フィリピン編 ——侵略・「開発」・抵抗』（監督＝高岩仁、制作＝1995年） 上映と討論